

NEOCUT WOOD

ネオカットウッドデッキ

デッキ用ハンヨウ部材 取扱説明書①

目次

1. 素材の性質と特徴	...	1
2. 取扱い上の注意	...	2
3. 梱包内容	...	3
4. 最重要寸法と基本寸法	...	4
5. 各部名称と詳細部納まり	...	5
6. 土台部の施工	...	6
7. 床板の施工	...	7
8. 幕板の施工	...	8
9. その他オプション	...	9
■床板キャップの取付	■床板隙間バーの取付	
■ステップの施工	■点検口の取付	...
■斜辺、R状デッキの施工	■スロープの施工	10

施工者様へ

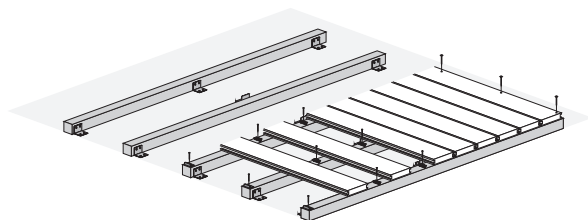
⚠ 必ずお読みください

※本文中赤枠および赤字の内容を守らず施工し、不具合が発生した場合、弊社は一切の保証いたしかねます。

高さの少ない現場にお勧めしたい施工方式！

根太ーデッキ/ローデッキ

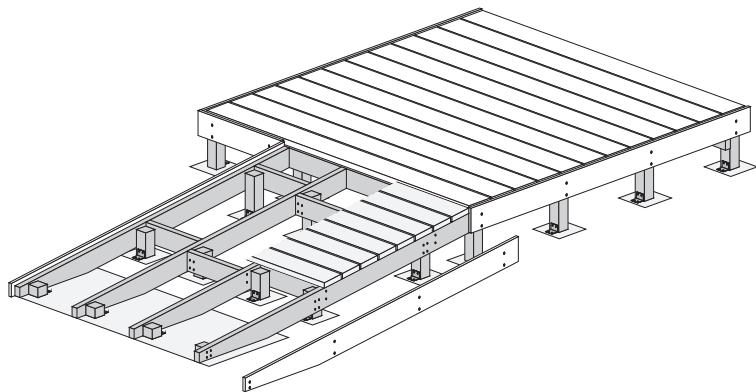
施工L-1方式



デッキにスロープをつける施工方法！

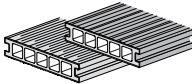
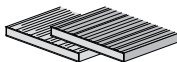
根太ーデッキ

スロープ施工



「ネオカットウッド商品」デッキシリーズのお知らせ

水に強くクッション性があり、滑りにくく安全性に優れたエラストマー樹脂+人工木の2層材「WAVEデッキ」が登場しました。

種類	型番	品名	サイズ	色
WAVE床板 	WYU18	WAVE床板L1793	W143 × T30 × L1793	ココアブラウン ベージュグレー
	WYU27	WAVE床板L2693	W143 × T30 × L2693	
WAVE幕板 	WMA20	WAVE幕板L2000	W140 × T15 × L2000	

【お受取りの際のお願い】

- お受取りの際は作業遅れなどのトラブルを未然に防ぐために届いた商品は添付された「出荷明細書」と併せてご確認頂き、万が一不足や破損等がございましたら至急ご連絡をお願い致します。
- 本商品は素材の性質上熱による伸縮がありますので、本内容を正しくご理解した上で施工、お取扱い等お願い致します。
- 本商品（特に長尺物）を保管の際は、立て掛けたり平らでない場所や日差しが強い場所に長時間置くと、変形が生じ施工に支障が出る場合がありますので、コンクリート土間や枕木上等の平らな場所をお選びください。
(多少の曲がり等は、施工時に固定することで解消されますので品質上の問題はありません)

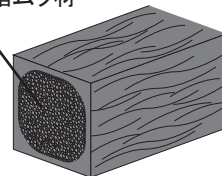
1. 素材の性質と特徴

構造材「根太一番」、人工木材「ネオカットウッド」は木材と同感覚で扱えます！

■構造材「根太一番」

- 原料はペットボトルのキャップ(PP)等の廃プラスチックを主とした、樹脂100%の押出材です。
- 内部を発泡処理することで衝撃に強く、比重0.7と軽い商品です。
- ムク材のため、木材同様に切断、穴あけ、面取り、カンナ等の加工ができ、ビス打ちが可能な素材です。
- 樹脂100%のため、含水率・吸水率が極めて少なく、耐久性に優れた商品です。

発泡処理した
PP樹脂ムク材

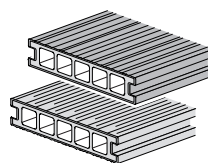


■ネオカットウッド 「WAVE」デッキ、「ZEN」デッキ、「ST」デッキ

- 原料はペットボトルのキャップ(PP)等の樹脂約50%＋木粉約50%で作られた人工木(木粉樹脂)押出材で、環境にやさしい商品です。(WAVE表層除く)
- 木材同様に切断、穴あけ、面取り等の加工ができ、ビス打ちが可能な素材です。
- 「根太一番」同様、木材に比べ含水率・吸水率が少なく、耐久性に優れた商品です。
- 天然木の木粉や廃プラスチックを使用している人工木材の特性上、種類や商品ごとに色の濃淡の差が出る場合があります。

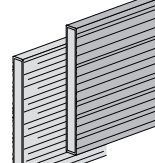
■「WAVE」デッキ
エラストマー樹脂でリバーシブル対応
(両面使用可)

床板(WAVE柄)



床板(スジ目柄)

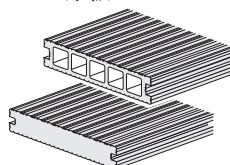
幕板(WAVE柄)



幕板(スジ目柄)

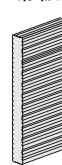
■「ZEN」デッキ
不均等溝柄で耐水性・耐久性が向上
(片面のみ使用可)

床板



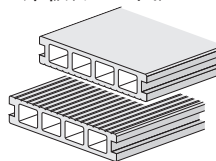
ムク材

幕板



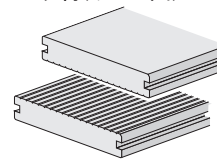
■「ST」デッキ
従来タイプでリバーシブル対応
(両面使用可)

床板(サンド面)



床板(溝面)

ムク材(サンド面)



ムク材(溝面)

幕板



2. 取扱い上の注意

■保管上の注意

- 本商品(特に長尺物)を保管の際は、立て掛けたり平らでない場所や日差しの強い場所に長時間置くと、変形が生じ施工に支障が出る場合がありますので、コンクリート土間や枕木上等の平らな場所をお選びください。
(多少の曲がりや、施工時に固定することで解消されますので品質上の問題はありません)
- 本商品は、熱を発生するものの近くには置かず、重ねる際は荷重が集中しないように保管してください。

■施工上の注意

【共通】

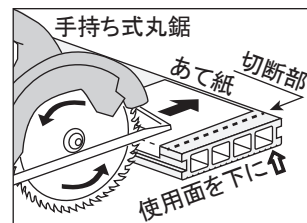
- 本商品は素材の性質上熱による伸縮がありますので、本内容を正しくご理解した上で施工、お取扱い等お願い致します。
- 本商品は樹脂が含まれるため、日中や強い日差しで高温になります。
素手もしくは素足で触れると火傷をする恐れがありますので、施工時は保護具を使用してください。
- 「根太一番」、各デッキ材とも熱による伸縮があるため、躯体や障害物がある場合は十分隙間を取ってください。
- 「根太一番」、各デッキ材ともペンキは使用できません。
- 「根太一番」、各デッキ材とも釘を使用できませんので、固定する場合は木ビスを使用し、「ネオカットウッド」は必ず下穴を開けてからビスで固定してください。
- 幕板のような比較的薄い商品や床板のような中空材は、多少の反りや曲がりがありますが品質上の問題はありませんので、矯正しながら土台や基礎にしっかり固定してください。
- 床板もしくは土台部を基礎や躯体へ固定しない施工は、部材の変形や破損、不具合の原因となるためお避けください。
- 「根太一番」は熱で溶けやすい素材のため、刃物の熱を取りながら切断を行ってください。
刃物に材料が付着し加工性が低下する場合は、水で薄めた市販の食器用洗剤を霧吹き等で予め刃物に吹き付ける等の対策をお勧めします。また、なるべく大型かつ据置式の丸鋸(60～80ピッチ)をご用意ください。
- 床板キャップを使用する際は、予め床板にはめ込み、なるべく側面からビス固定してください。
- 床板内部に水が浸入する恐れがある場合は、中空部下面に水抜き穴(6～8mm)を設けてください。
- 床板を幅加工する場合は、なるべくリブを残し、中空部に補強材を差し込んだり土台部に補助根太を施すなどの補強をしてください。

温度変化による伸縮目安

- 根太一番
表面40℃変化⇒ 約7mm/m
- デッキ材(床板、幕板)
表面40℃変化⇒ 約2mm/m

【WAVEデッキ】

- 「WAVE」デッキを切断する丸鋸(165mm)は60～72ピッチ、スライド丸鋸(190mm)の場合は72ピッチの刃数を推奨します。
- 「WAVE」デッキを丸鋸で加工の際は、表層のエラストマー樹脂による切れ端が残る場合がありますため、使用面を下にして切断してください。
- 「WAVE」デッキを切断する丸鋸はスライド丸鋸を推奨しますが、手持ち式丸鋸で切断する場合はベースの滑りを良くする為にデッキ表面に付属の「当て紙」を敷いて切断してください。
- 「WAVE」デッキを切断した際にエラストマー樹脂の切れ端が残る場合は、木工用の鬼目ヤスリを使用すると取りやすいです。



■使用上の注意

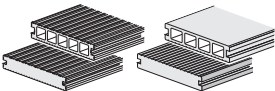
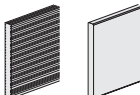
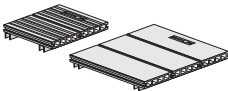
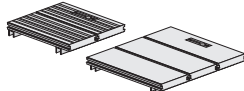
- デッキの上では必ず履物を履いてください。
「根太一番」、各デッキ材とも樹脂が含まれるため、日中や日差しが強い時など高温になります。素手もしくは素足で触れると火傷をする恐れがありますので、使用時は必ず履物をご用意ください。また幼児が使用される場合は特にご注意ください。
- 衣類・布団・洗濯物などをデッキや手摺に置かないでください。
デッキ材表面は、経年変化により含まれる成分が色移りの原因となるため、デッキ上や手摺上には衣類・布団・洗濯物などを直接置かないでください。また成分が雨水などと混じり、衣類等に付く場合がありますのでご注意ください。
- 部材の変形・破損の可能性のある以下のような行為はしないでください。
 - ・デッキ上に重量物を長期間置いたり、規定の荷重を超える使用。(最大荷重180kgf/m²)
 - ・デッキ上やデッキ付近での暖房器具やコンロなど熱を発生するものの使用。
 - ・手摺フェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかるなどの過度な負荷。
- 表面に付着したシミや汚れは早めに取り除いてください。
デッキ材は、水気や湿気の多い場所に長時間放置するとカビ等の原因となりますのでお避け下さい。
天然木同様に、ホコリや汚れを長時間放置すると、シミや黒ズミ、カビの発生原因となりますので、こまめに汚れを取り除いてください。(下記の「お手入れについて」を参照してください)

3. 梱包内容

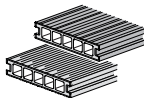
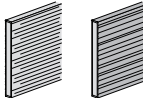
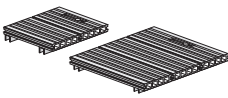
■ 構造材「根太一番」

70 × 70 × 2850	60 × 60 × 2850	60 × 40 × 2850	90 × 90 × 2850	40 × 30 × 2850	80 × 30 × 2850	90 × 40 × 2850
10.6 kg	7.8 kg	5.7 kg	18.6 kg	2.8 kg	6.1 kg	8.5 kg
						

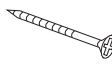
■ 「ZEN/ST」デッキ 床板、幕板、点検口

ZEN/ST床板	ZEN/ST幕板	ZEN/ST点検口(中空材)	ZEN/ST点検口(ムク材)
L1793 5.2 kg L2693 7.8 kg ムク材L1793 8.4 kg	L2000 5.8 kg L2730 7.9 kg	300角 2.0 kg 450角 4.3 kg	300角 3.1 kg 450角 6.8 kg
			

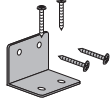
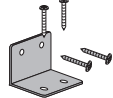
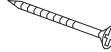
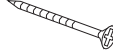
■ 「WAVE」デッキ 床板、幕板、点検口

WAVE床板	WAVE幕板	WAVE点検口(中空材)
L1793 4.9 kg L2693 7.4 kg	L2000 5.3 kg	点検口300角 1.9 kg 点検口450角 4.1 kg
		

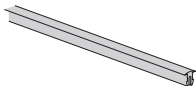
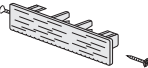
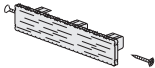
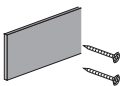
■ デッキ用組立部品

ステン止め部品セットA(木ビス) センター用	ステン止め部品セットB(木ビス) スタート用	端用ビス、幕板用ビス(木ビス)	WAVEデッキ丸鋸切断用 あて紙
ステンレス止め部品A 平頭コース4.2 × 40ステン黒	ステンレス止め部品B 平頭コース4.2 × 40ステン黒	ステンコースGB	
			

■ デッキ用組立部品

束用L金具セット35mm(ビス付)	束用L金具セット35mmステンレス(ビス付)	コースビス65	ムク材固定用木ビス
L金具35mm鉄黒 コンクリナベ`4 × 32鉄黒 SW3.7 × 30鉄黒	L金具35mmステン黒 コンクリナベ`4 × 32ステン黒 SW3.7 × 30ステン黒		ステンコースGB
			

■ デッキ用オプション

床板隙間バー	ST床板キャップ	ZEN床板キャップ	アルミフラットバー
			モトラス4.8 × 32
			

4. 最重要寸法と基本寸法

■最重要寸法 ※必ず以下の寸法を守ってください。

束脚ピッチ

根太サイズ (高さ×幅)	束脚ピッチ (芯々)
60角 60×40	600
70角	800
90角	900
40×60	450

床板長手方向の隙間

7mm

躯体との隙間

10mm以上

根太ピッチ

450mm以内

床板幅方向の隙間

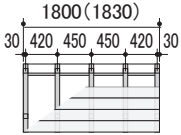
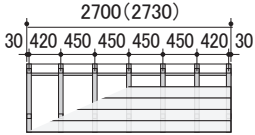
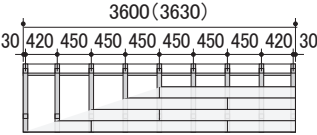
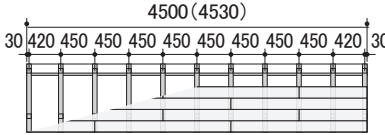
中間部7mm(端部3.5mm)

床板の張出し

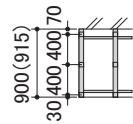
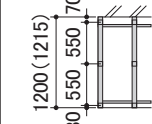
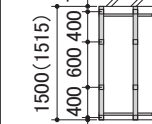
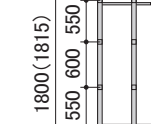
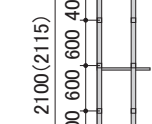
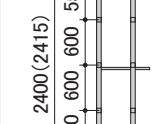
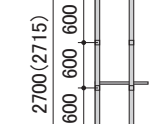
130mm以内

※床板の張り方向が6尺(1800mm)もしくは9尺(2700mm)の場合は、隙間をあげながら床板(L1793もしくはL2693)をそのままお使いください。

■間口方向の基本寸法(根太一番60角の場合) ※()は両側面に幕板がついた場合の寸法です。

1間	1.5間	2間	2.5間
			

■出幅方向の基本寸法(根太一番60角の場合) ※()は前面に幕板がついた場合の寸法です。

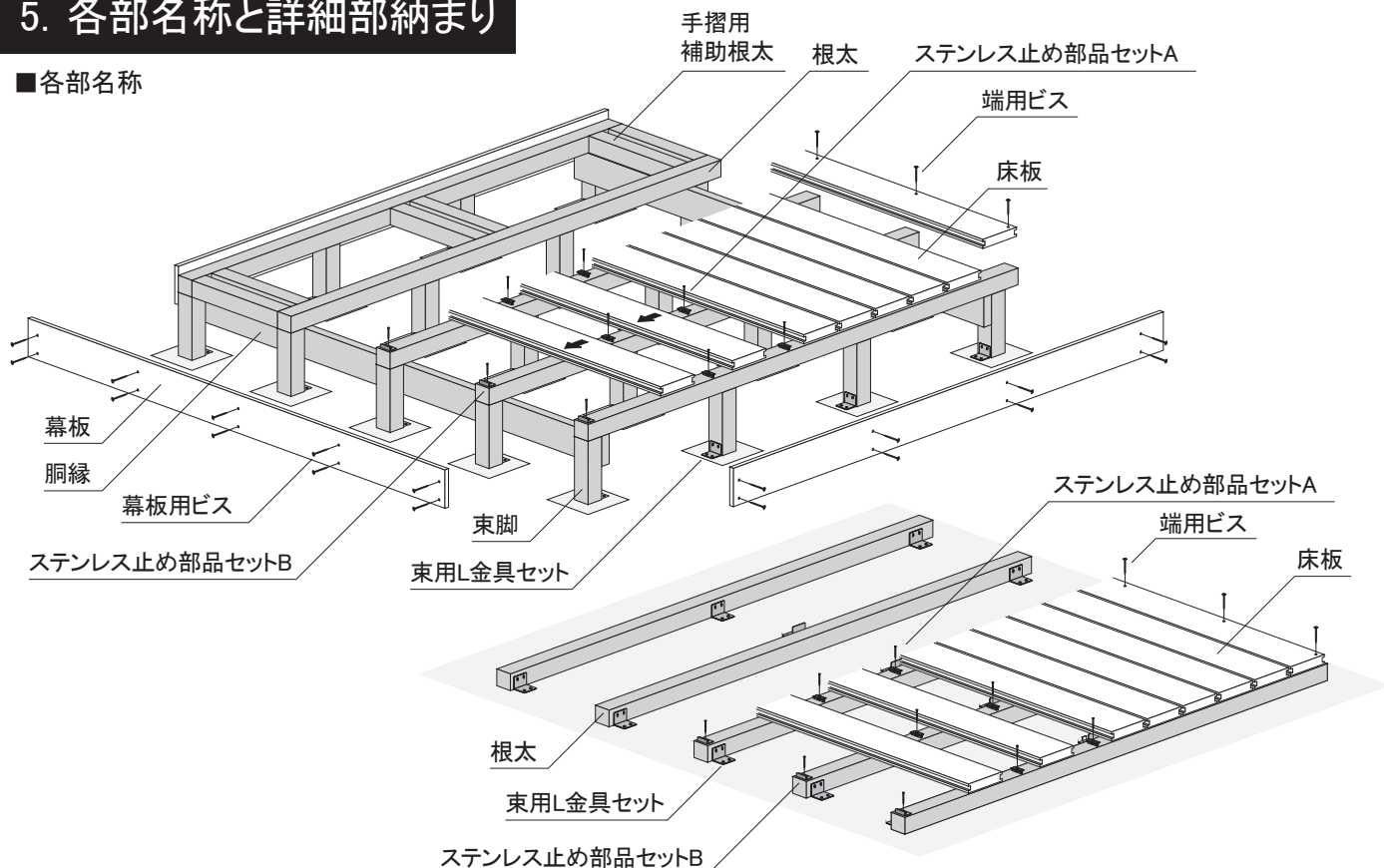
3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
						

注意

- ※基本寸法は一般的なデッキ使用時の寸法ですが、現場状況に応じて異なる場合があります。
- ※間口方向の基本寸法は、根太・束脚とも60角、一般的な現場の場合となり、異なる根太使用時や過度な負荷のかかるような現場は異なる場合があります。
- ※出幅方向の基本寸法は、根太・束脚とも60角、一般的な現場の場合となり、異なる根太使用時や過度な負荷のかかるような現場は異なる場合があります。

5. 各部名称と詳細部納まり

■各部名称



※手摺が付く場合は、
別紙「デッキ用手摺 取扱説明書⑥」をご覧ください。

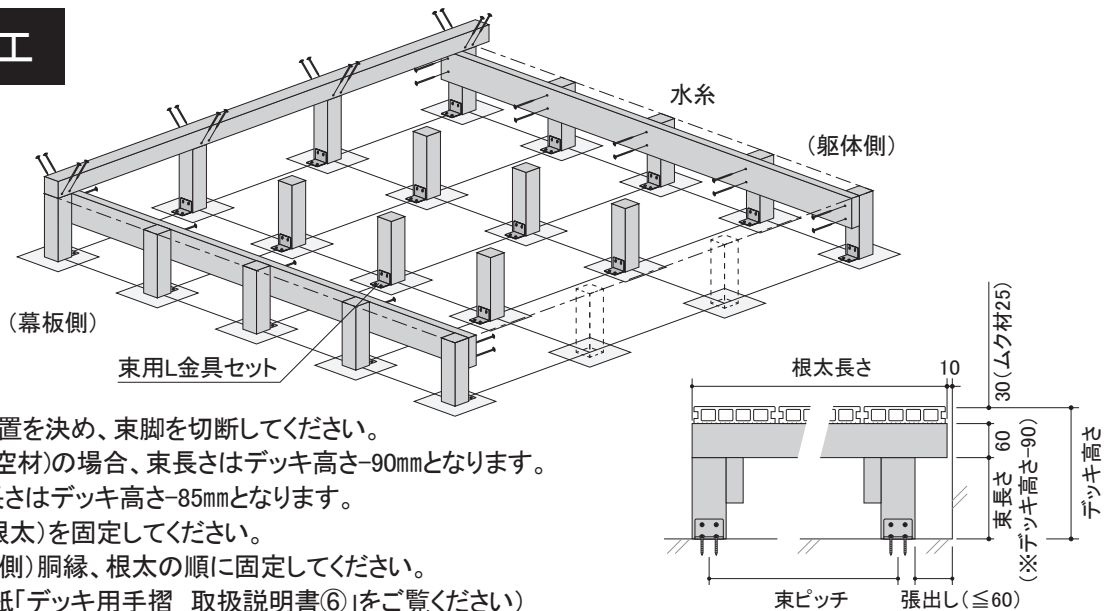
■詳細部納まり

(根太および束脚が60角の場合とし、束用L金具セットの位置は任意となります)

(張り方向が1800mmもしくは2700mmかつ幕板使用の場合は、床板(L1793、L2693)をそのまま使用可能です)

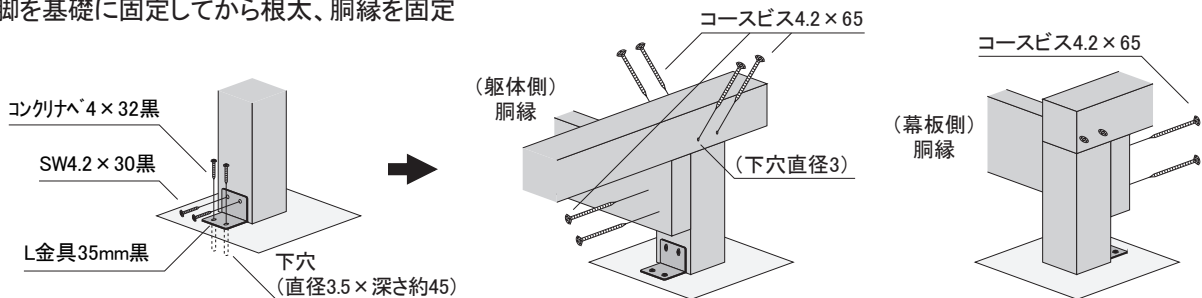
デッキ(中空材):出幅方向	デッキ(中空材):間口方向
デッキ(ムク材):出幅方向	デッキ(ムク材):間口方向

6. 土台部の施工

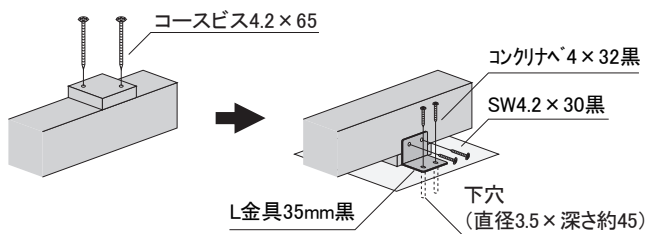


- ①デッキ高さ、束脚の位置を決め、束脚を切断してください。
※根太60角、床板(中空材)の場合、束長さはデッキ高さ-90mmとなります。
※ムク材の場合、束長さはデッキ高さ-85mmとなります。
- ②基礎に束脚(もしくは根太)を固定してください。
- ③(躯体側)胴縁、(幕板側)胴縁、根太の順に固定してください。
(手摺が付く場合は別紙「デッキ用手摺 取扱説明書⑥」をご覧ください)
(ステップが付く場合は「8. その他オプション■ステップの施工」をご覧ください)

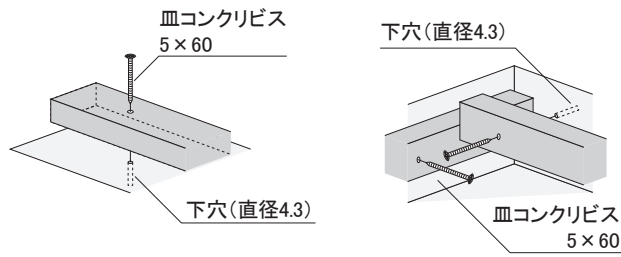
■束脚を基礎に固定してから根太、胴縁を固定



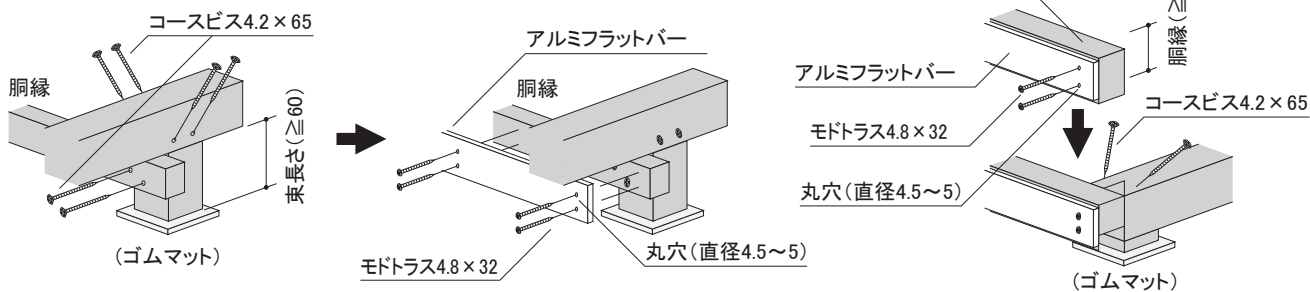
■東脚を根太に固定してから基礎へ固定する場合
(東脚を固定した根太を裏返します)



■根太を直接基礎や周囲へ固定する場合



■アルミフラットバー固定
(束脚や根太を基礎に固定できない場合、
胴縁にアルミフラットバーを固定します)



注意

※設置場所は基礎の浮き沈みがなく水はけのよい場所をお選びください。

※束脚は、前後面、両側面の水系で寸法出しをしてから切断してください。

※通常L金具セットは束脚1本につき1セットですが、高さや基礎に応じて増やすなどしてください。

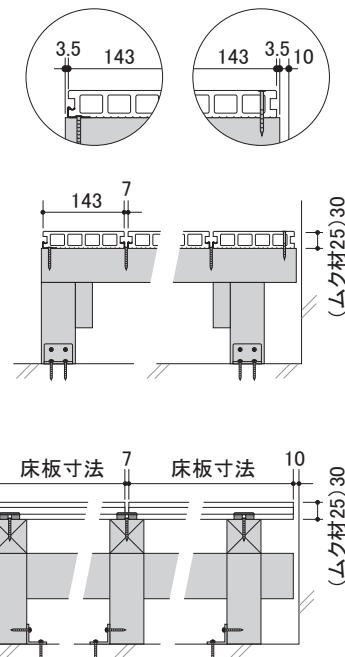
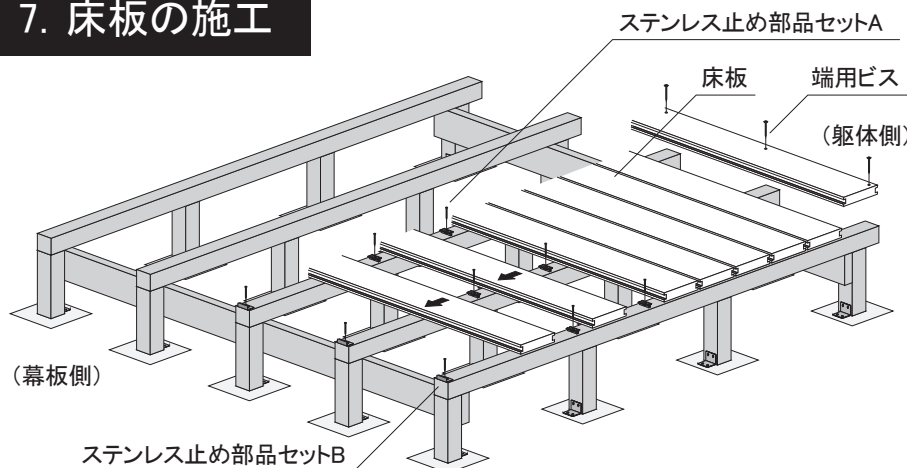
※(躯体側)胴縁は根太を固定する前に束脚に固定してください。

※根太にビスを斜め打ちする際は、一度下穴(直径3mm程度)をあけると作業がし易くなります。

※根太を基礎へ直接固定する場合は、必ず水抜き箇所を設け、必要に応じて根太に座繰りを施してください。

※アルミフラットバー(もしくは亜鉛めっき鋼板)を使用する場合は、胴縁と3カ所(ビス6本)以上で固定し、必要に応じて丸穴(直径4.5～5mm)をあけてください。

7. 床板の施工

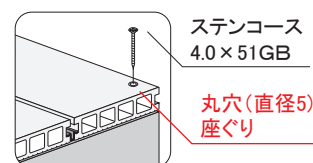
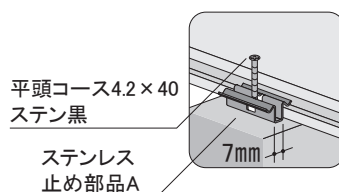
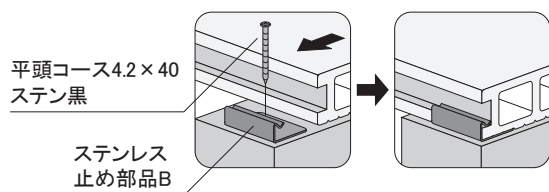


- ① 根太ピッチや隙間を考慮して床板寸法を確認してください。
(張り方向が6尺1800mmの場合は、床板L1793mmをそのままお使いください)
(張り方向が9尺2700mmの場合は、床板L2693mmをそのままお使いください)
(寸法調整が必要な場合は、隙間を考慮し床板をカットしてお使いください)
- ② 最初に躯体側もしくは幕板側の床板を「ステン止め部品セットB」で固定してください。
- ③ 隣り合う床板を「ステン止め部品セットA」で固定し、最後は端用ビスで固定してください。

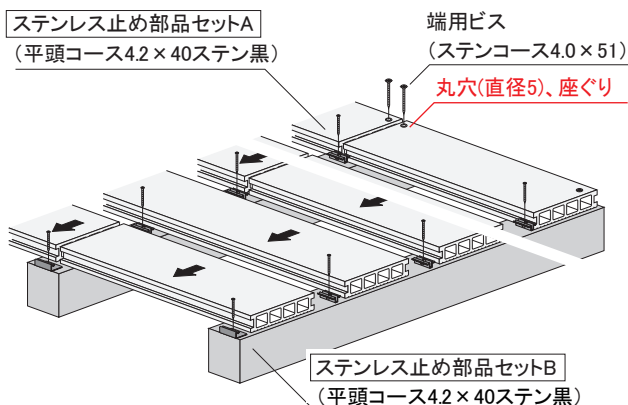
■スタート用(床板張り始め)の固定

■センター用(隣り合う床板)の固定

■エンド用(床板張り終わり)の固定 (床板上よりビス固定する場合)



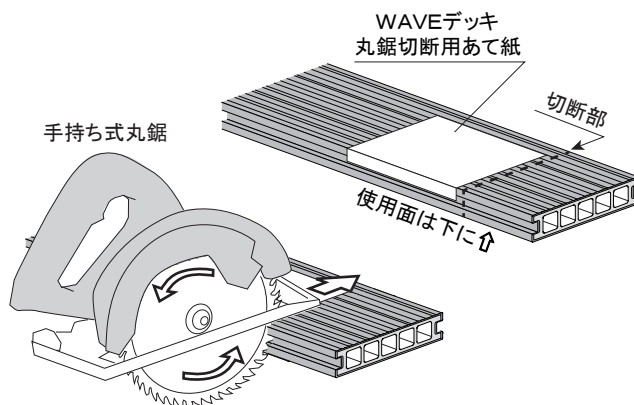
■床板(中空材、ムク材)、止め部品の固定



※床板継ぎ目は、止め部品1セットで均等に固定してください。

■WAVEデッキを手持ち式丸鋸でカットする場合

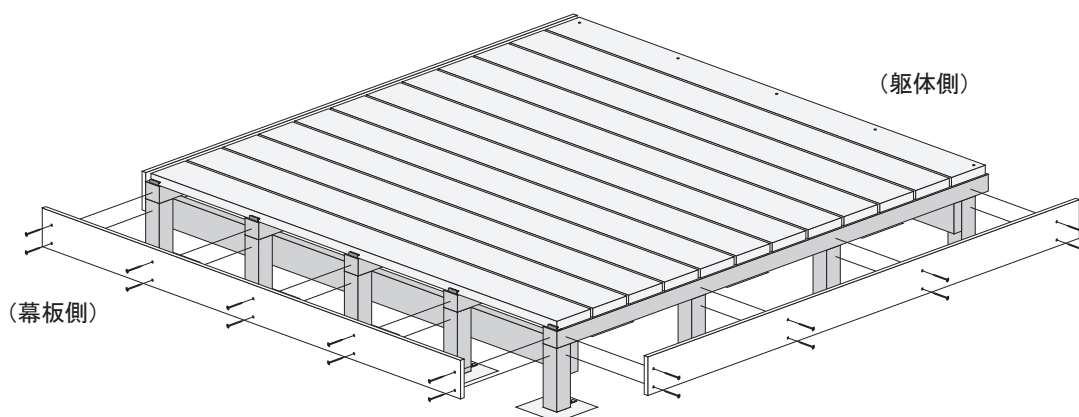
ベースの滑りを良くする為、表面に付属の「あて紙」を敷いて切断してください。



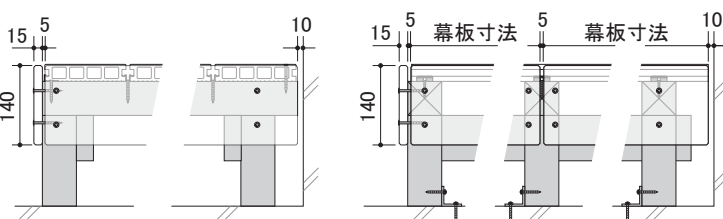
注意

- ※床板幅方向の隙間は、ステン止め部品使用時は7mm、それ以外の場合でも5mm以上としてください。
- ※床板を継いで設置する場合は、必ず根太のサイズの大きいものを使用するかもしくは補助根太を設けてください。
- ※端用ビスで固定する際は、必ず床板のリップ付近に丸穴をあけ、必要に応じて座繰りを施してください。
- ※床板を幅加工する場合は、なるべくリップを残し、床板の強度が落ちるため中空部に補強材を差し込んだり土台部に補助根太を施すなどしてください。
- ※ST床板、STムク材およびWAVE床板は、裏表の両面とも使用可能ですが、ZEN床板およびZENムク材は不均等溝柄の片面のみ使用可能となります。
- ※WAVEデッキを丸鋸で加工の際は、表層のエラストマー樹脂による切れ端が残る場合があるため使用面を下にして切断してください。

8. 幕板の施工

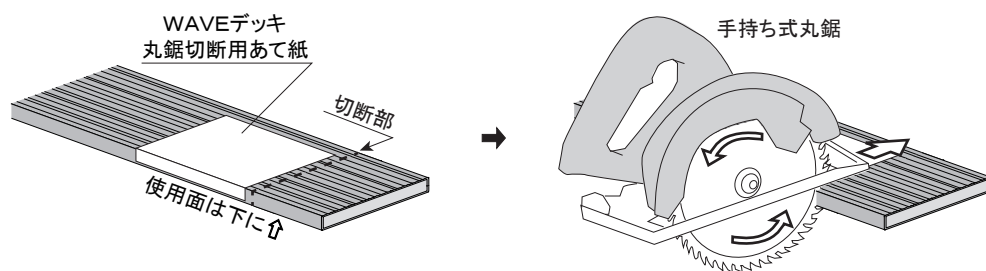


- ① 隙間を考慮して幕板寸法を決め、切断してください。
- ② 根太、束脚の位置を確認し、幕板を固定してください。

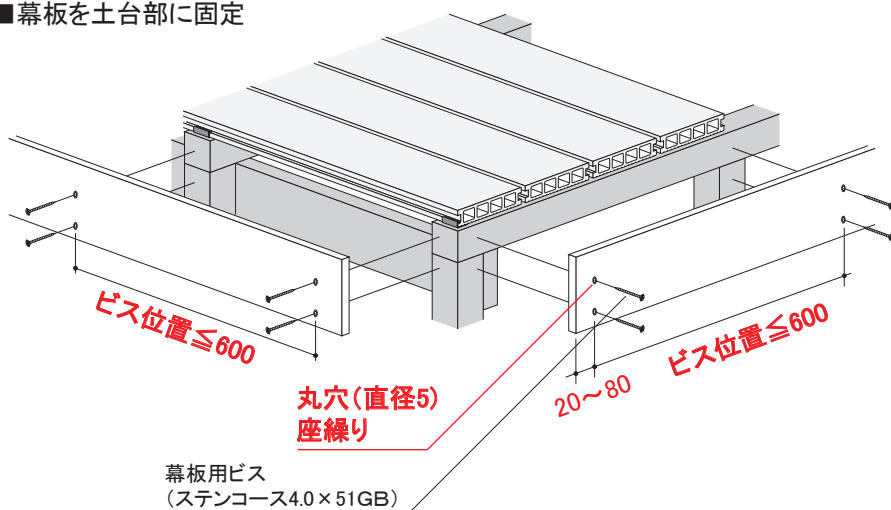


■ WAVEデッキを手持ち式丸鋸でカットする場合

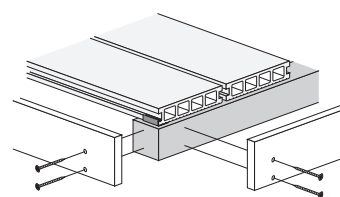
ベースの滑りを良くする為、表面に付属の「あて紙」を敷いて切断してください。



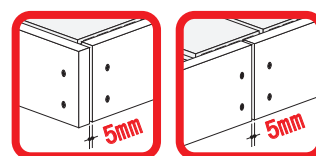
■ 幕板を土台部に固定



■ 幕板を根太に固定



■ コーナー部、継ぎ目の納まり



注意

※幕板を固定する際のビス位置は、端部から20～80mmかつ上下2ヶ所とし、間隔は600mm以内、継ぎ目の隙間は5mm程度としてください。

※幕板を固定する際は、必ず幕板側に丸穴および座繰りを施してください。

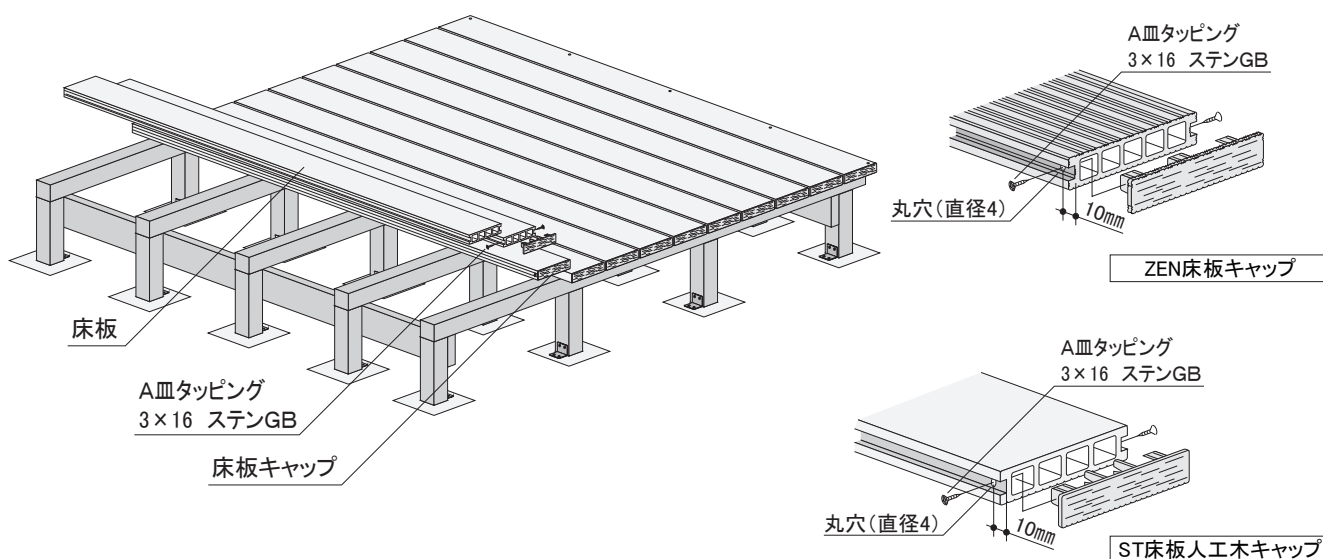
※幕板を幅加工する場合は、曲がりなど変形の恐れがあるため上下均等に加工し、固定する根太やビス位置を増やすなどの補強をしてください。

9. その他オプション

■ 床板キャップの取付

隙間がないよう床板にはめ、側面よりビス固定してください。

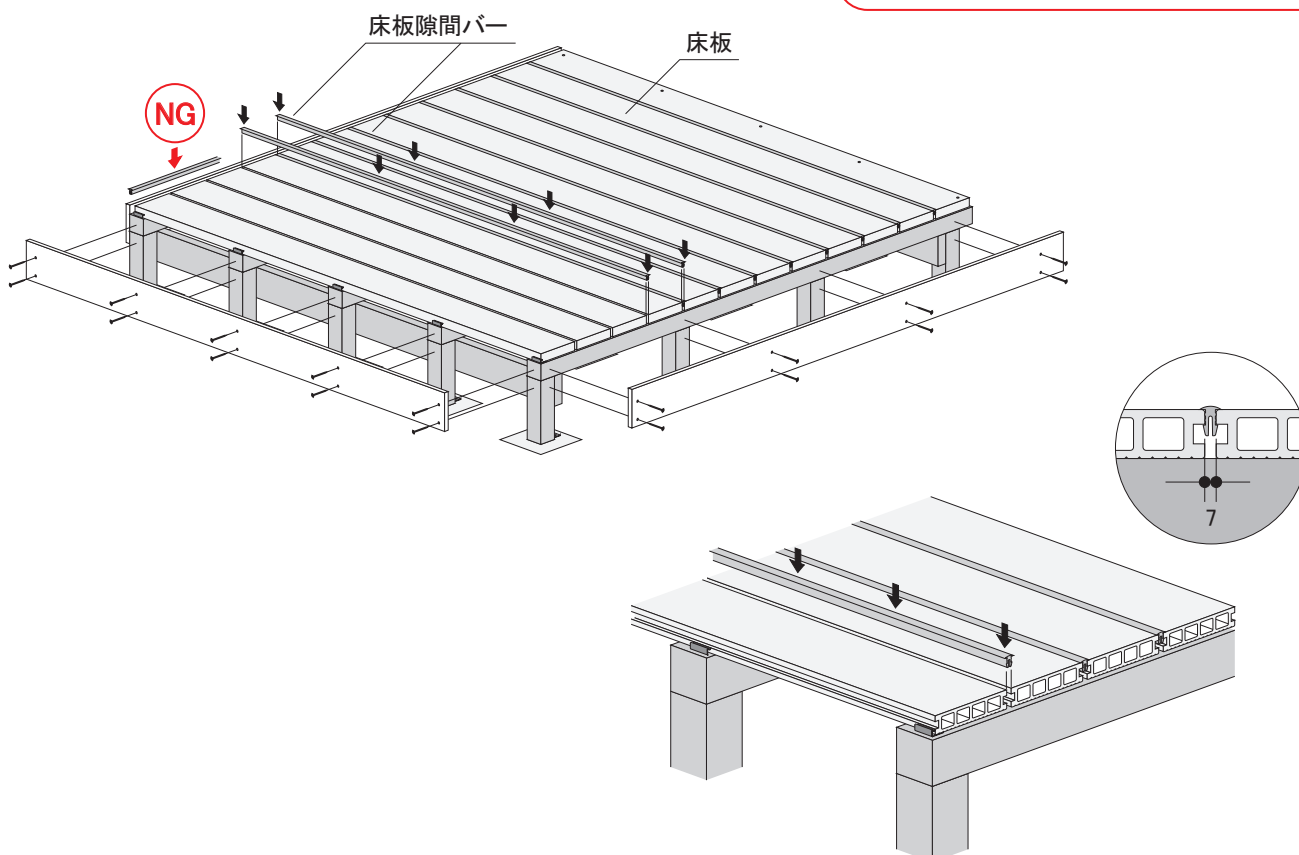
※各キャップとも折り曲げて扱わないよう注意してください。
※各キャップとも必ず床板にビス固定してください。
※各キャップとも上下方向に注意して固定してください。



■ 床板隙間バーの取付

必要長さにカットし、床板と床板の隙間にしっかりはめ込んでください。

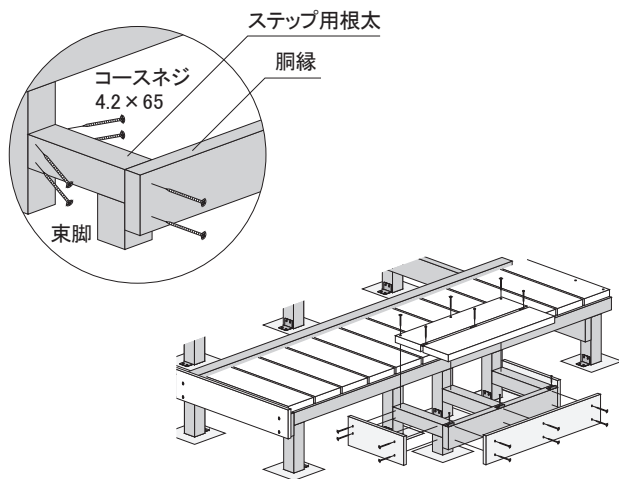
※はめ込みにくい場合は、ゴムハンマー等で
圧入してください。
※床板の長手方向(継ぎ目、幕板側)は、床板の
伸縮が妨げられるため取付けないでください。



9. その他オプション

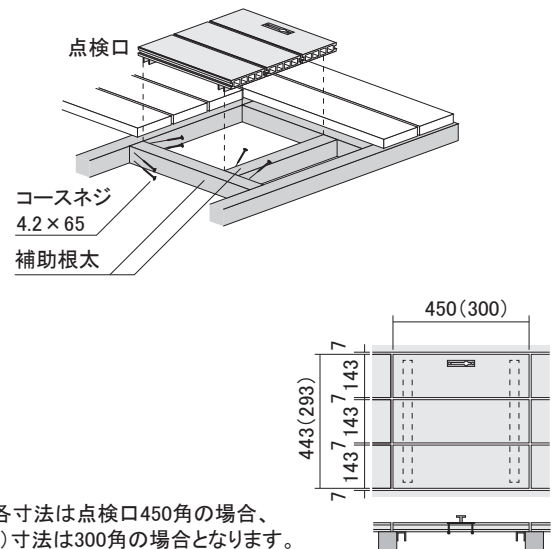
■ステップの施工

- ①土台部にステップ用根太、胴縁、束脚を固定してください。
- ②床板、幕板を固定してください。



■点検口の取付

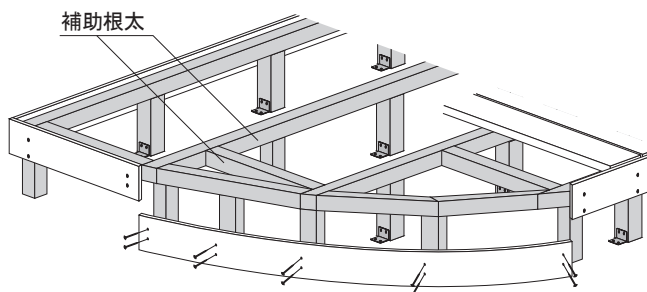
点検口に合わせて補助根太を固定してください。



※各寸法は点検口450角の場合、
() 寸法は300角の場合となります。

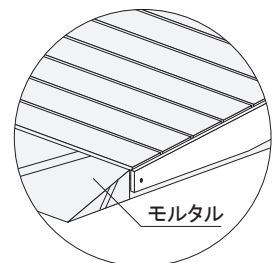
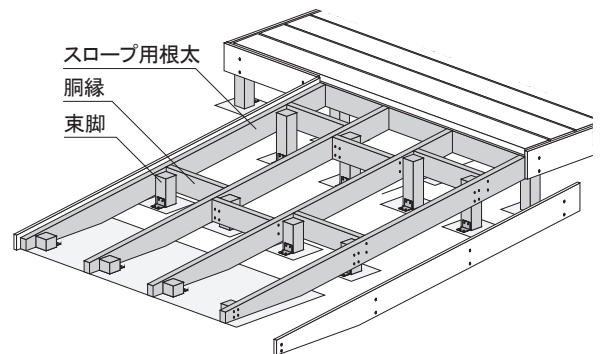
■斜辺、R状デッキの施工

- ①斜辺もしくはR状に合わせて補助大引、補助根太を固定してください。
- ②斜辺もしくはR状に合わせて床板、幕板を固定してください。



■スロープの施工

- ①勾配を決め、スロープ用根太、胴縁を束脚に固定してください。
- ②最下部はモルタル等で仕上げ、床板、幕板を固定してください。



注意

- ※床板を幅加工する場合はできるだけリブを残し、床板の強度が落ちるため土台部の根太を増やすなど補強をしてください。(変形や破損の原因となります)
- ※床板を斜めもしくはR状に加工する場合は、床板の強度が落ちるため鋭角な縦切りはせず、かつ土台部の根太を増やすなどの補強をしてください。(変形や破損の原因となります)
- ※R部の幕板は半径5,000mm以上とし、端部は必ず十分に固定してください。

お施主様へ

⚠必ずご確認ください

ネオカットウッド商品を快適にお使い頂くために、お施主様にお渡し、ご使用前にお読み頂き、保管してください。

ご理解ください

天然木の木粉を使用している人工木材の特性上、部材ごとに色の濃淡の差が出る場合があります。
木材に含まれる粒子状の成分が表面に浮き出ることがあります。

ご使用上の注意

- デッキの上では必ず履物を履いてください。

「根太一番」、各デッキ材とも樹脂が含まれるため、日中や日差しが強い時など高温になります。素手もしくは素足で触れると火傷をする恐れがありますので、使用時は必ず履物をご用意ください。また幼児が使用される場合は特にご注意ください。

- 衣類・布団・洗濯物などをデッキや手摺に置かないでください。

デッキ材表面は、経年変化により含まれる成分が色移りの原因となるため、デッキ上や手摺上には衣類・布団・洗濯物などを直接置かないでください。また成分が雨水などと混じり、衣類等に付く場合がありますのでご注意ください。

- 部材の変形・破損の可能性のある以下のような行為はしないでください。

- ・デッキ上に重量物を長期間置いたり、規定の荷重を超える使用。(最大荷重180kgf/m²)
- ・デッキ上やデッキ付近での暖房器具やコンロなど熱を発生するものの使用。
- ・手摺フェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかるなどの過度な負荷。

- 表面に付着したシミや汚れは早めに取り除いてください。

デッキ材は、水気や湿気の多い場所に長時間放置するとカビ等の原因となりますのでお避け下さい。
天然木同様に、ホコリや汚れを長時間放置すると、シミや黒ズミ、カビの発生原因となりますので、こまめに汚れを取り除いてください。(下記の「お手入れについて」を参照してください)

お手入れについて

【ZEN/STデッキ】のお手入れ方法

- デッキ材表面に万が一傷が付いた場合は、サンドペーパー(#60程度)やヤスリ等で長手方向に擦ると目立たなくなります。
- デッキ材表面に付着した汚れはシミやカビの原因となりますので、以下の方法を参考にして早めに取り除いてください。

- ・定期的な清掃 ⇒ ホースによる水洗いやブラシを使用してください。
(雨天後に行うと効果的です)
- ・汚れが落ちない場合 ⇒ 市販の真鍮ブラシや高圧洗浄機を使用
(鉄製ブラシの場合は商品を傷付ける恐れがあります)
- ・汚れが染み込んでいる場合 ⇒ 十分な清掃後に中性洗剤を使用しタワシやブラシで擦る
- ・汚れがひどく染み込んでいる場合 ⇒ 十分な水洗いをした上で次亜塩素酸系漂白剤(ハイター・カビキラー等)を使用

※漂白剤の使用・使用方法・注意事項を良く読み、内容を理解した上でご使用ください。

※洗剤・漂白剤を部分的に使用すると部分的に白くなる場合がありますので、全体的に使用することをお勧めします。

※漂白剤を使用した場合は、漂白剤が残らないように完全に水で洗い流してください。

その際、洗い流した水で植栽が枯れるなどの悪影響を与えますので、十分注意してください。

※漂白剤塗布後は、長時間放置すると部分的に白くなる場合がありますのでご注意ください。

【WAVEデッキ】のお手入れ方法

- デッキ材表面が柔らかい素材のため、サンドペーパーやヤスリ、ブラシ全般は使用しないでください。
- デッキ材表面(ベージュグレー)は、明るい色の特性上汚れが目立ちやすいため、気になる場合は頻繁に清掃を行ってください。
- ・定期的な清掃 ⇒ ホースによる水洗いや雑巾等を使用してください。
(雨天後に行うと効果的です)
- ・汚れがひどい場合 ⇒ 十分な清掃後に薄めた中性洗剤を使用して雑巾等で拭きとり、汚れが残る場合は「ジフ」等の家庭用研磨材入りクリーナーを使用してください。

「ネオカットウッド商品」に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

NEOCUT WOOD
(株)高儀 エクステリア事業部

〒955-0814

新潟県三条市金子新田乙945-29 TEL:0256-36-7800 FAX:0256-36-7160